

2015～2016年度

Weekly Report



【真岡鉄道 C12型蒸気機関車】 ※千葉県 山本和幸様撮影

2016. 2. 21 NO. 2787

国際ロータリークラブ会長テーマ 「世界へのプレゼントになろう」
真岡ロータリークラブ会長テーマ 「入って学び 出でて奉仕せよ」

国際ロータリー第2550地区
真岡ロータリークラブ 会長 田村 浩次

2015～2016年度 国際ロータリー第2550地区 第4グループ インターシティーミーティング

【会場】 アプローチ益子

■来賓 国際ロータリー第2550地区 ガバナー 中谷 研一様

《第一部》

- 司会 益子RC 梅野 聡様
- 点鐘 第4グループガバナー補佐 平野良和様
- 国歌並びに
ロータリーソング 奉仕の理想
- ソングリーダー 益子RC 都野祐俊様

■開会の言葉 IM実行委員長 益子RC 牟田紀一様



皆様こんにちは、実行委員長を仰せつかりました牟田紀一でございます。昨夜の雨もすっかりと上がりまして、久しぶりに春らしい陽気になりました。本日は、4クラブが一同に会するミーティングでございます。私達にとりましても、楽しくそして有意義な集いになるように努めてまいりたいと思っております。それでは、只今より2015-2016年度の第4グループインターシティーミーティングを開催致します。どうぞよろしくお願い致します。

月曜日

宇都宮90⇒東武ホテルグランデ
小山中央⇒思 水 荘

火曜日

真岡西⇒フォーシーズン静風
宇都宮⇒東武ホテルグランデ
宇都宮東⇒ホテルニューイタヤ

水曜日

益子⇒益子カントリー
しもつけ⇒石橋商工会館

木曜日

宇都宮西⇒東武ホテルグランデ
宇都宮北⇒宇都宮グランドホテル

金曜日

小山東⇒ウイ・テ・マリアージュ

会長 田村浩次 幹事 久保康夫 会報委員(市村忠男・柳田尚宏・坂本光・太田浩彰・渡邊伴寛)

事務局

〒321-4305 栃木県真岡市荒町1203(商工会館内)

TEL 0285-84-2511 FAX 0285-84-2510

e-mail:rc-moka@sweet.ocn.ne.jp

■挨拶 第4グループガバナー補佐 平野 良和 様

皆様こんにちは。2015-2016年度IMの開催に当たりましてごあいさつを申し上げます。先程もありましたけれども、IMと申しますのはグループ内のロータリアンが一同に会してフェローシップというものの輪を広げるといのが本来の筋であると思います。各クラブの現況報告書を見ますと、入会1年未満という方が4クラブで15名いらっしゃいました。ということは、今日初めてIMIに出席されたということになるかと思えます。IMと申しましてもロータリーの会合であることには違いありませんので、出席してもロータリーの話がさっぱり出なかったというのでは大変申し訳ありません。ガバナー補佐という立場上、若干ロータリーのことに触れてみたいと思います。

先程、フェローシップという言葉を出しましたけれども、新入会員の皆様には2つの言葉を覚えて頂ければよろしいかと思えます。基本的には、フェローシップとサービス、基本もそうですが最終的にもその2つです。まずフェローシップについて触れたいと思います。フェローシップというのはキリスト教の用語にある様に、宗教団体も意味します。ロータリーの発祥からすればキリスト教の精神的風土というものは止むを得ない訳であります。フェローシップは、いわゆる「志を共有する者達、仲間」です。

フェローが仲間、そしてシップはご承知のように船です。それを繋げるとロータリーという船に乗り合わせた同志達という事になります。その同志が心を一つにしてサービスという目標に向かって航海するのがロータリーでして、これは初めから終わりまでそういう事になります。日本では、親睦という訳し方をしています。それでも間違えではないのですが、ややもすると親睦だけが独り歩きしてしまうような場合もあります。以前は「親睦委員会」というものは組織上はなくて「友愛委員会」と言っていたとのことです。「友愛」という言葉を使っていたということも参考になるかと思えます。

以上能書きを言いましたが、IMIにおいては知識を広め、情操を高めるというのも目的の一つであります。今回は、第1部で各クラブの現況を会長が報告し、皆さんに参考にして頂きます。第2部は、福田三男先生の下毛野古麻呂と下野薬師寺という、下野の国の来歴のお話になります。第3部ではマリンバの演奏をお聞き頂き、そしてお待ちかねの懇親会にてフェローシップの輪を広げて頂くという段取りになっておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



■歓迎の言葉 益子RC会長 佐藤 広志 様

皆様こんにちは。本日は国際ロータリー第2550地区第4グループインターシティミーティングに当益子町迄お越し頂き、誠にありがとうございます。心より歓迎と御礼を申し上げます。今日は平野ガバナー補佐の下、牟田実行委員長そして富田副実行委員長、益子ロータリークラブ全会員でお迎え出来る様準備してまいりました。只今、ガバナー補佐からもありました様に第1部は各クラブの現況報告でロータリアンの絆を深め、第2部では福田三男氏の下毛野古麻呂と下野薬師寺の講演によって私達の遠き祖先に思いをさせ、第3部の懇親会ではロータリアン同志、未来永劫の友情を深めたいと考えております。そして、アトラクションは益子在住のマリンバ奏者をお呼びしております。どうぞ皆様、本日のIMを楽しく、そして有意義に過ごされますようご期待申し上げまして歓迎の挨拶とさせていただきます。「レッツ・エンジョイ・ロータリー！」有難うございます。



■参加クラブ現況報告 真岡RC 田村 浩次 会長

只今ご紹介頂きました、真岡ロータリークラブの第57代会長を務めております田村浩次と申します。真岡ロータリークラブは、今年度初めに52名の会員でスタートさせて頂きました。真岡ロータリークラブは大変歴史のあるクラブでありますけれども、現状では入会10年未満が3分の2を超えております。資質向上のため、活動を通して諸先輩のロータリアン精神を学び、経験の浅い会員が各自切磋琢磨すべく、今年度クラブ目標を「入りては学び・出でては奉仕せよ」としました。そして具体的方針を5つ決めました。1番目は例会の充実、2番目は会員の増強、3番目は委員会の活性化、4番目は情報電子化に対する対応、5番目は継続事業の充実であります。本日は、時間があまり御座いませぬので既に成果の出ているものについて2点ほどご紹介させて頂きたいと思えます。1番目の例会の充実についてですが、当然ロータリアンは例会や事業に対する出席は義務となっております。昨年度のガバナー補佐岡本俊夫PPIに出席委員長を務めて頂き、大変厳しく、かつ優しい指導の下、今年度すでに6カ月が経過いたしました。そのような中で、会員の例会に対する意識や他の事業に対する参加意欲が大いに湧き、高い出席率を誇っております。第2550地区において現在上位第6位ということで、すでに90%を超え、95%に迫る勢いです。

これは、例会の充実という目標に向けて会員全員が努力をした結果だと思っております。

次に、4番目の情報電子化に対する対応につきましては、昨年度より国際ロータリーを始め、地区ロータリーの情報等がすでに電子メール等によって届くようになりました。また、中谷ガバナーの方からも今年度の強い目標として推進するよう求められております。国際ロータリーのマイロータリー登録を100%にするのは無理かもしれませんが、早い時期から会員の登録に力を入れて参りましたところ、幸いにして当真岡ロータリークラブにおきましては、すでに70%を超えるマイロータリー登録が出来ました。この事によって、真岡ロータリークラブの経験の浅い会員がネットからマイロータリーを通して国際ロータリーの理想やその他の情報を非常に多く得ることが出来、先輩との対話を通して大きな成果が上がっていることを実感できるまでになっております。

他にも説明したいのですが、すでに良い結果が出ていると感じた部分だけを述べさせていただきます。真岡ロータリークラブは長い歴史とクラブ文化を大切にします。そして、今後も良きロータリアンとして活動できるような環境の整備を大切にしたいと思います。今後とも、第4グループ各クラブの皆様と親睦を深め、より良いロータリークラブ活動を目指したいと思います。以上報告と致します。



■参加クラブ現況報告 真岡西RC 鈴木 定男 会長



■参加クラブ現況報告 しもつけRC 川中子 隆 会長



■参加クラブ現況報告 益子RC 佐藤 広志 会長



《第二部講演会》

- 司会 梅野 聡 様
- 講師 福田 三男 先生

【講師略歴】

1947年栃木県宇都宮市出身 上智大学新聞学科卒
下野新聞社勤務 2006年文星芸術大学准教授
2014年～同大学非常勤講師 日本ペンクラブ会員



【講演】

～下毛野古麻呂と下野薬師寺～

■来賓 国際ロータリー第2550地区ガバナー
中谷 研一 様

下毛野古麻呂は7世紀の末から8世紀の初めにかけて政権の中枢であった大倭国(やまとのくに)で活躍をした人物です。主な業績を挙げますと、大宝律令という法律を作りました。大宝律令は歴史の教科書には必ず出てくる名前で、中国の律令を手本として作られた、本格的な刑法(律)、行政法(令)の制度のことで、下毛野古麻呂はその他にも多くの事に関係しています。持統天皇の在位中689年に奴婢600人の解放を奏上し、許可をされた人物でもありました。文武天皇に替わった700年、忍壁親王・藤原不比等・粟田真人らと共に法律の選定を命じられ、翌大宝元年(701年)、大宝律令による位階制の施行により従四位下に叙せられました。4月に古麻呂ら3人が初めて新令を講義して親王諸臣百官人に学ばせ、同年8月には大宝律令を完成させています。大宝律令選定の功により、大宝2年(702年)参議に任ぜられ、大宝3年(703年)には功田30町と封戸50戸を与えられました。その後文武朝では、兵部卿を兼ねて従四位上まで昇進し、慶雲4年(707年)の文武天皇の崩御に際しては、造山陵司を務めています。また、同年には一族の下毛野石代について、下毛野臣姓から下毛野川内朝臣姓への改姓を請い、許されています。元明天皇の和銅元年(708年)正四位下・武部卿に叙任され、大將軍も兼ねますが、和銅2年(709年)12月20日に卒去。最終官位は参議文武卿代將軍正四位下でした。なお、古麻呂の卒去により霊龜3年(717年)藤原房前が任ぜられるまでの8年間に渡って、参議が不在の状況になっていました。このような経歴を踏まえると、もう少し有名になっていてもおかしくはないのではないかと思います。

下野薬師寺は、栃木県下野市にあった古代寺院で、史跡は現在国の史跡に指定されています。寺院の名称は「薬師寺」でしたが、旧国名を冠して「下野薬師寺」と記載されることが多くなっています。栃木県南部、鬼怒川右岸の広大な平野に位置し、奈良時代に正式に僧侶を認める戒壇が設けられたことで知られています。当時の戒壇は、この寺の他に奈良の東大寺と筑紫の観世音寺にしか設けられておらず、これらは「本朝三戒壇」と総称されていました。その他、道鏡が宇佐八幡宮神託事件ののち当寺に左遷されたことでも知られる寺院です。下野薬師寺は衰退と中興を繰り返しており、現在は初期寺院跡の発掘調査が進んでいます。また、跡地には安国寺が設けられ、下野薬師寺の法灯を現在に伝えています。



《第二部 マリンバ演奏》

■演奏者 高嶋 聡美 様
他2名



■本日のプログラム

3月3日(木)
月初例会
<誕生日祝・結婚記念日祝>

■次回のプログラム

3月10日(木)
通常例会
<炉辺会合報告>

■月間予定

2月							3月																										
20	21	22	23	24	25	26	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
土	日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		インターシティーミーティング			IM振替休日				月初例会							例会(炉辺会合報告)							例会(青年会議所理事長卓話)								例会(外部卓話)		

■出席報告

在籍51名		出席免除5名(資格者2名 + 有理由者3名)					
例会日	出席義務	事前MU	事後MU	出席	欠席	出席率	本年度累計出席率
補正後 2月4日	46	3	1	39(1)	4	91.49%	
2月21日	46	6	-	34(1)	7	85.10%	
6月出席率	7月出席率	8月出席率	9月出席率	10月出席率	11月出席率	12月出席率	1月出席率
84.74%	97.52%	96.73%	92.00%	96.45%	92.05%	91.99%	

※出席数の()は出席免除者の出席を表す